

「大学生のためのお金の教室～キャッシングを利用しているのですが・・・」

ファイナンシャルプランナー 江尻正幸

こんにちは、ファイナンシャルプランナーの江尻正幸です。

最近、カードローンやキャッシングのキャンペーンを目にする機会が増えると共に、これらを利用する若い方も以前よりいらっしゃると感じています。

今回は、この点に関するご相談です。

【質問】

現在、キャッシング残高が 10 万円ほどあります。

早く完済し、これからはお金とまじめに向き合おうと考えています。

そこで質問なのですが、完済後は貯金と資産運用のどちらを重視すればよいのでしょうか？

(丸山さん 大学4年生 一人暮らし 貯金ゼロ)

(生活費・交際費として 15 万円をキャッシングし、返済中)

【回答】

まず、返済状況について確認します。

もともと 15 万円を借入れ、現在の残高が 10 万円とのことですが、日常生活に支障をきたしてはいないでしょうか。

最も避けたいことは、生活費や返済に充てるお金を工面するために、他の貸金業者から借入を行うことです。

貯金や資産運用については、丸山さんご自身の返済が順調なとき、初めて検討すべき事項です。

いわゆる「自転車操業」にならないよう、もし返済が苦しいようでしたら、すぐにご家族や国民生活センター等に相談しましょう。

●貯金？資産運用？

さて、今回のご質問の主題である「完済後は貯金と資産運用、どちらを重視すべきか」についてご説明します。

丸山さんの返済が順調であると仮定すると、まず家計の見直しを行い、それから貯金をするべきでしょう。

家計の見直しとは、例えば「自分は何にお金を費やしているのか」を把握し、改善することが挙げられます。

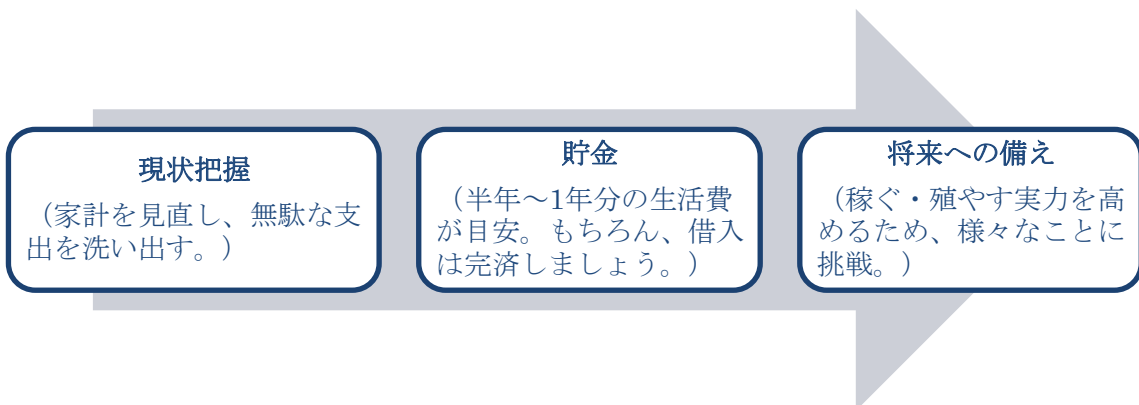
今回のキャッシング理由が「生活費・交際費」とありますが、これらの資金が不足したのはなぜでしょうか？

もしも、「気付いたら貯金が無くなっていた」ということならば、普段の丸山さんご自身の行動を振り返り、上記のような支出管理をすることが必要と言えます。

「頻繁に夜から朝方まで外でだらだら飲み続ける」、「セールだからといって、普段使わないようなものを大量に購入する」といったことが支出の大きなウェイトを占めているのであれば、家計簿をきっちりつけなくとも、家計改善を図ることが可能です。

個人的には、ある程度の金額を貯めたら、20代は様々なことを経験したり、資産運用を行ったりすることで、将来稼ぐ・殖やすための実力を高めることが大切だと考えています。

丸山さんの場合、まずは支出を把握し節約を心がけ、再びキャッシングすることを避けつつ、半年～1年分の生活費を貯金することを当面の目標とするとよいでしょう。



●使用口座の見直しも！

さて、貯金をするにあたり、これまで使っていた口座の見直しも行いましょう。

現在、ネット専業銀行や既存金融機関のネット支店では、一般的な銀行の預金金利よりも高めに設定され、手数料もお得なケースがあります。

丸山さんの使い方にあった金融機関の口座を、この機会に探してみましょう。

金融機関	円普通預金金利(年利率)
大和ネクスト銀行	0.120%
住信 SBI ネット銀行	0.120% (SBI ハイブリッド預金するとき)
セブン銀行	0.050%
3メガバンク	0.020%

(筆者作成。金利は税引き前のもの。全て2012年8月25日現在。)